

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体			
歴史・文化の発掘・発信 郷土愛醸成事業			東区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	R2	R3	R4	
市民・団体等と行政の協働のもと、次世代を担う子どもを主な対象として、文化・歴史に触れられる各種事業を実施することで、地域固有の歴史の発掘・発信、継承、及び区民の文化意識の向上、文化活動の促進を図る。	区域の歴史・文化の保全や区民の区域に対する関心向上により、郷土愛の醸成が図られる。	子ども絵画展示応募点数	—	—	167	
		歴史ツアー応募人数	—	—	7	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
○ 地域固有の歴史の発掘・発信、継承、及び区民の文化意識の向上、文化活動の促進には公益性があり、区が実施主体となる必要性があるため、区での実施が妥当である。	○ 東区政策会議からの提案・企画を受け事業を実施している。実施の過程においても、区政策会議構成員はじめ市民・団体等との協働により事業を実施している。	○ 子ども絵画展示事業については、応募のあった絵画167点を南海電鉄の協力のもと鉄道4駅に、そのほか区役所に展示した。歴史ツアー事業については、区内の歴史スポットを巡るウォーキングツアーを実施した。いずれも区域の特色を活かした事業である。	○	子ども絵画展示にあたっては、人流の多い鉄道4駅や区役所玄関に展示し、多くの方に見ていただく機会を得た。歴史ツアーについては、企画・運営を地域事情に精通した地域住民に担っていただくことで、高い効率性を発揮した。		
⑤自立発展性	総合評価					
△ 当事業は東区政策会議からの提案・企画に基づいた事業であり、地域全体で区域の歴史・文化の保全や区民の区域に対する関心向上が図られる機運が醸成されるまでの間、行政が実施すべき事業である。	○ 駅や区役所等の地域で多くの方が利用する空間に子どもたちの絵画作品が展示されたこと、ツアーを通じ子どもたちが地域の方々から歴史を学んだことは事業の成果であり、子どもたちを軸として文化の裾野が広がり、また歴史を発掘・継承する一歩を踏み出したことは意義あることである。					
今後の方向性(課題、改善提案等)						
継続	子ども絵画展示事業については、より多くの区民に見ていただけるよう、募集・展示内容や展示場所等について検討を行う。親子で育むがまちツアーについては、探訪対象となっていない地域を中心とし、所要時間や距離、手法等の適正化を図る。東区かるた事業については、かるた素案について地域の声を反映して完成させ、子ども世代への配布及び活用を進めていく。					